

長崎県五島列島で展示「最新研究でわかった岐宿－水ノ浦のいま・むかし・みらい」を開催しました（2024/8/3 - 27）

テーマ：災害レジリエンス共創センター、潜伏キリシタン、景観、宗教、異文化理解、地理学
会場：五島市立図書館、西海国立公園・鏡瀬ビジターセンター（長崎県五島市）

2024年8月3日（土）～8月27日（火）に、長崎県五島市立図書館エントランスホール、および西海国立公園・鏡瀬ビジターセンタービューラウンジにおいて、展示「最新研究でわかった岐宿・水ノ浦のいま・むかし・みらい」を開催しています。

本展示は、東北大学災害科学国際研究所災害レジリエンス共創研究プロジェクト「五島列島における潜伏キリシタン集落の形成・立地と災害リスク評価に関する研究」（代表：原裕太・2030国際防災アジェンダ推進オフィス）の成果を、対象地域である五島市において実施するものです。展示期間終了後は、水ノ浦教会において展示される予定です。

8月11日（日）には本展示に関連して、五島市立図書館・多目的室において、トークライブ「若手研究者と語り合う岐宿－水ノ浦のいま・むかし・みらい」を開催し、イベントに合わせて展示の様子を地元ケーブルテレビ局である（株）五島テレビに取材頂きました。

※トークライブの詳細については、別に掲載中のアクティビティレポートをご覧ください。

プロジェクトメンバー

- ・原 裕太 東北大学災害科学国際研究所 助教
- ・甲斐智大 大分大学経済学部 准教授
- ・高場智博 五島列島ジオパーク推進協議会 専門員

主催：五島市、五島列島ジオパーク推進協議会

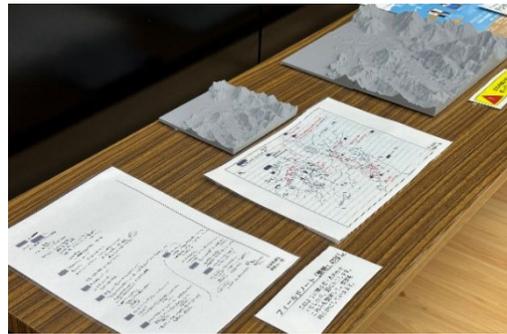
共催：上記プロジェクト

後援：東北大学災害科学国際研究所、大分大学経済学部地域経済研究センター

立体地形模型製作協力：小倉拓郎 兵庫教育大学 講師



五島市立図書館での展示の様子（全景）



五島市立図書館での展示の様子
（フィールドノート、立体地形模型）



鏡瀬ビジターセンターでの展示の様子（全景）



鏡瀬ビジターセンタービューラウンジ

文責：原 裕太（2030国際防災アジェンダ推進オフィス）
（次頁へつづく）



五島列島の美しい自然環境



水ノ浦教会